

氏名	雑賀美帆
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 5397 号
学位授与の日付	平成 28 年 9 月 30 日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究 機能再生・再建科学専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当)

学位論文題目	Development of a Japanese version of the BREAST-Q and the traditional psychometric test of the mastectomy module for the assessment of HRQOL and patient satisfaction following breast surgery (乳房手術後のHRQOL・満足度評価のためのBREAST-Q日本語版の開発, 及び乳房切除術モジュールの古典的計量心理学的特性)
--------	--

論文審査委員	教授 三好 新一郎 教授 樋之津 史郎 准教授 増山 寿
--------	------------------------------

学位論文内容の要旨

乳房手術のアウトカム評価において患者主観的評価は非常に重要である。BREAST-Q は、乳房手術が患者の健康関連 QOL と満足度に与える影響を計測するための患者主観的評価尺度である。我々は BREAST-Q 日本語版開発を行った。BREAST-Q 日本語版過程においては、言語的・内容的同等性を保つため、2版の順翻訳、統合、逆翻訳、Patient testing というステップを経た。性的健康感に関する質問項目は回答しにくいという意見もあったが、内容は妥当であると考えられた。

Field test において乳房切除術モジュールの計量心理学的特性を検討したところ、乳房の満足度、心理社会的健康感、身体的健康感、治療への満足度の下位尺度は信頼性・妥当性が良好であった。性的健康感についてはより若い年齢層を対象として更に検討する必要があると考えられるが、乳房切除術の影響を計測する上で必要な要素であり、日本語版から削除するべきではないと判断した。

論文審査結果の要旨

BREAST-Q は、乳房手術が患者の健康関連 QOL と満足度に与える影響を計測するための患者主観的評価尺度であり、その信頼性・妥当性の高さから世界で汎用されるようになってきた。本邦においては乳房再建術を含めた有用な患者主観的評価法がなく課題であった。本研究は BREAST-Q の 4 つのモジュールの日本語版開発を行い、その 1 つである乳房切除術モジュールの古典的軽量心理学特性について調査・分析を行ったものである。その結果、本研究者は 2 版の順翻訳、統合、逆翻訳、Patient testing というステップを経て BREAST-Q の日本語版を開発した。性的健康感に関する質問項目は回答しにくいという意見があったものの、内容は妥当であった。また、乳房切除術モジュールの古典的軽量心理学特性において乳房の満足度、心理社会的健康感、身体的健康感、治療への満足度の下位尺度は信頼性・妥当性が良好であることを示した。これらの研究結果は、今後本邦において乳房手術の主観的評価を行う上で重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。